

2017年2月7日

自動車用関連部品(ターボ部品)への取り組みについて

昨年秋にニュースリリースとして皆様に報告いたしましたPIMビジネスの進捗につき、最新の状況を以下の通りご報告申し上げます。

ハイブリッド化、電氣化に並ぶ環境対策としてターボチャージャーにより小型化されたエンジンを搭載するダウンサイジングターボ車の普及が見込まれております。

当社ではPIM技術を活用してターボチャージャーに組み込まれる超耐熱金属部品を実用化する取り組みを続けて参りました。ニッケル基超合金、チタン合金などの次世代超耐熱金属と並行して、現在の主流の材料である耐熱ステンレス合金(HK30)を当社PIM技術で精密加工することによりビジネスの早期立ち上げを進めております。

今般、社外の試験検査機関において当社PIM技術により精密加工された耐熱ステンレス合金(HK30)の物性試験を実施し、良好な結果が得られましたのでご報告申し上げます。

今回の物性試験では、自動車用基幹部品として要求される寸法精度に加え、機械強度、耐熱特性など多数の項目にわたる試験を実施し良好な結果を得ることができました。今後は残り2項目の3ヶ月以上を要する試験を実施し、この物性試験の結果をもとにターボチャージャーメーカー、自動車メーカーとターボ部品の量産に向けた具体的な交渉を進める予定です。

以上